

【給食協会賞】デザート争奪戦

安城西部小学校 高木 一磨

今日は給食にデザートが出る日だ。そして今からぼくは、ぼくと同じくデザートを取りに来た人たちとじゃんけんする。デザートは一つしかない。ぼくはなんとしてもデザートを勝ち取ると心に誓った。だって、今日のデザートはクレープだからだ。クレープは給食のデザート人気ランキングでおそらくベスト5に入るくらい人気のデザートだ。ほとんどの場合、生地が米粉で出来ているためもちもちでほんのり甘くとてもおいしいので。

「最初はグー」
今からじゃんけんが始まる。ぼくはあまりじゃんけんは強く無い。だからじゃんけんは気合で勝負する。

「じゃんけん、ぽん！」
やはり、気合いではじゃんけんに勝てず、今日もじゃんけんに負けてしまった。ぼくはクレープかもう一つ食べられなくて悔しくなり、家でじゃんけんの必勝法を調べた。すると、じゃんけんで勝った人は、最初に勝った手をもう一度出しやすいということが分かった。ぼくは、次のおかわりじゃんけんのときに使ってみようと考えた。

数日後、待ちに待ったカレーライスの日がきた。カレーライスにはデザートはつかないが、人気メニューランキングで二位というメニューだ。おかわりする人も多く、学校の生徒全員が食べられるように甘口になっていて、カレールーがほとんどすごく

マッチしてとても美味しい。ルーだけで食べる人もいるくらいで、ぼくも大好物だ。給食の量はいつもと同じはずなのに、カレーのときは一瞬で口に吸いこまれてすぐになくなってしまおう。カレーは、いつもはたくさん出るご飯の残飯がとてまもなくなくなる魔法のようなメニューなのだ。

ぼくはカレーもご飯も何回も何回もおかわりした。カレーは食缶に入っているから、じゃんけんをしなくても何回もおかわりできる。だから今日はおかわりじゃんけんがなかった。でも、ぼくは満腹になり、じゃんけんのことを忘れていた。

また数日後、人気ナンバーワンのビビンバの日が来た。給食のビビンバはビビンバだからといって辛いわけではなく、全く辛い。肉の旨みと錦糸卵のほのかな甘味がとても美味しいのでぼくは幸せな気分になる。そのビビンバのデザートとしてついてきたのが「きらず揚げ」だ。きらず揚げは豆腐のお菓子でパリパリと固く、甘い。ぼくの好きなデザート第三位だ。

ぼくはじゃんけんの必勝法を思い出しながらきらず揚げ争奪戦に臨んだ。五人のうち一人だけがおかわりのきらず揚げを食べることができると。

「最初はグー、じゃんけんぽん！」
ぼくは、おいしく楽しい給食が大好きだ。